

Injury Alert (傷害速報)類似事例

子守帯 (スリング) 内で発生した窒息による心肺停止

(No.19 子守帯 (スリング) 内で発生した心肺停止の類似事例 2)

事 例	年齢：0歳1か月 性別：女児 体重：4.0kg 身長：52cm	
傷害の種類	窒息	
原因対象物	スリング (2歳兄に使用していたもので、初めての使用ではない)	
臨床診断名	心肺停止	
医 療 費	250,000 円	
発 生 状 況	発生場所	自家用車内
	周囲の人 ・ 状況	母親が児をスリングで抱いたままシートベルトをして運転、夫が助手席に座っていた。
	発生年月・ 時刻	2019年3月X日(日) 午前0時頃
	発生時の 詳しい様子 と経緯	周産期歴・既往歴に特記事項のない生後33日の女児(在胎39週2日、出生体重3,098g)。当日午前0時頃まで両親とともに飲食店にいた。午前0時05分に授乳した(おそらく最終無事確認)。帰宅の際、母親は児をスリングで抱いた状態でシートベルトを着用し運転席に座り、両手でハンドルを握って運転した。0時30分頃自宅に着き、児をベッドに寝かせようとしたところ鼻出血があり、反応がないことに気づいて0時39分に救急要請した。

治療経過と予後	<p>救急隊接触時（0時48分）、母が台所で胸骨圧迫を施行しており、心肺停止状態（波形：心静止）であった。ミルクなどの吐物はみられなかった。1時04分に医療機関に到着。到着時、無脈性電気活動（pulseless electrical activity, PEA）であった。気管挿管および骨髄路を確保しアドレナリン 0.05mg を計 3 回投与したところで 1 時 24 分自己心拍再開した。心肺停止期間は最大で 90 分程度と考えられた。自己心拍再開後も瞳孔散大固定しており自発呼吸をみとめなかった。また、血液検査において高度の代謝性アシドーシスを認めた（pH6.631, pCO₂ 101mmHg, HCO₃⁻ 10.0mmol/L, BE -31.4mmol/L）。全身 CT では特に異常所見はみられず、ウイルス抗原迅速検査（インフルエンザウイルス、RS ウイルスなど）は陰性であった。ICU 入室後は代謝性アシドーシスについては補正により緩徐に改善をみとめたが自発呼吸の再開や神経所見の改善をみとめなかった。入室当日夕方から血圧低下、18時半すぎに死亡された。状況や各種検査所見より心停止に至るような内因性疾患は否定的であり、窒息による心肺停止と判断、警察へ検視を依頼した。後日児童相談所の介入や Child Death Review が行われており、明らかな事件性はないと考えられている。</p>
---------	---